

Libella りべら

持続可能な未来をみんなで作る

vol.166
2024.10

りべら
VOL.166 2024.10



《特集》

人の顔が見える防災

- ・Let'sにしよど防災さんぽ
- ・にしよど防災探検隊 淀の大放水路の謎に迫る!
- ・「水防」を自分ごとに
- ・あなたの鞆の中身、災害時に役立ちますか?
- ・親子で気軽に防災を!
- ・にしよどおやこぼうさいブック改訂版発行
- ・能登半島地震の支援報告

〈表紙の作品〉
2024年2月17-18日に開催された「ニシヨド宴会ラジオ」にて展示。
主催：ニシヨド宴会ラジオ実行委員会、作家：モリノ見、
場所：西淀川アートターミナル(NAT)

発行所：公益財団法人公害地域再生センター（あおぞら財団）
〒555-0013 大阪府西淀川区千舟1-1-1 あおぞらビル4階

あおぞらフォトギャラリー



研修 環境省研修の受け入れをしました。今年
は参加者33名と過去最多!フィールド
ワーク、公害に関するワークショップ、公
害患者、弁護士、企業等の様々な立場の方々から
のお話といったプログラムを通して、行政の役割
を改めて考えてもらいました。(2024.05.30-31)



まちづくり 大阪でタンDEM自転車を楽しむ会の
総会と走行会を開催! 自転車歩行者
専用道路の大野川道路を行ったり来
たりして、小一時間の走行会を実施しました。
総会ではパイロットを増やしていけるよう、定
期的にツアーや体験会をおこなうなどの企画
が提案されました(2024.6.9)



まちづくり にしよど音楽祭第一弾『夏休みファミ
リコンサート〜きがるにブラボー!
スグitez音楽会〜』を西淀川区民会館にて開
催。曲が終わるごとに、ブラボー、ブラボーと大
きな声が会場いっぱいにはびこっていました。
(2024.8.17)



おもしろいわ
西淀川



- #おもしろいわ西淀川
- #魅力発信サポーター
- #にしよど
- #西淀川区
- #鼻川神社
- #夏まつり
- #サンリバー柏里
- #枕太鼓
- #地車
- #背中に鼻



@FujieAozora



鼻川神社の夏まつり。
暑い夏がスタート
商店街は担いで巡行

西淀川区魅力発信
サポーター事業と連携



1960年代から問題となった大気汚染公害によって、多くの人が健康被害を受けました。その責任を問う西淀川公害裁判(1978~1998)では公害患者が勝利しました。患者は「手渡したいのは青い空」を願い、裁判の和解金の一部を使って1996年にまちづくり組織・あおぞら財団を立ち上げました。まちづくり・資料館・環境学習・公害患者の保健・国際交流の事業を行い、持続可能な地域づくりに取り組んでいます。

【あおぞらビル】

【1F】地域交流スペース「あおぞらいコバ」

会議、ギャラリー、コンサート、上映会などにご利用いただけます。
午前:1,000円/午後:1,300円/夜間:1,300円/全日:3,000円

【5F】西淀川・公害と環境資料館(エコミューズ)

西淀川公害や環境について、地域の歴史などが知りたい人はぜひお越しください。(環境教育等促進法にかかる「体験の機会」認定施設)

開館日 月曜日と金曜日(10:00~17:00) / 要事前電話予約

※いずれも、予約・お問い合わせは4F事務所へ

【会員・寄附募集】

あおぞら財団への寄附や賛助会費は、税制上の優遇措置があります。

- 賛助会員 会員の方には機関紙「りべら」などをお送りします。
【年会費】個人:年一口5,000円、学生:年一口2,000円、
法人・団体:年一口10,000円

● 会費・寄附の振込先

【郵便振替口座】記号・番号:00960-9-124893/加入者名:あおぞら財団
【ゆうちょ銀行】金融コード:9900/店番:099/預金種目:当座
/店名:0九九店/番号:0124893/名義:あおぞら財団
【三菱UFJ銀行】歌島橋支店/普通/3728858/財)公害地域再生センター
これまでご案内しておりました、三菱UFJ銀行と口座が変わっておりますので、
ご注意ください。

りべら (Libella) はラテン語で「トンボ」と「自由」の意味をかけたものです。あおぞら財団はトンボが飛び交うまちの再生を願って活動しています。

人の顔が見える防災



8月に発令された南海トラフ地震臨時情報、大型台風の上陸、線状降水帯の発生と、今年も災害関連のできごとがたくさんありました。防災は大事なこととわかっていながらも、いざ備えようと思うと少し気が重くなることもありませうね。

でも、防災はもっと気軽に、楽しく取り組めるものなんです。この特集では、地域の仲間と一緒に人の顔が見える防災、取り組んでいる方の顔が見える防災を中心に紹介します。

Let's

にしよど防災さんぽ

西淀川区は、淀川と神崎川という大きな川や大阪湾と水に囲まれているほか、海拔0メートル地帯が広がる等、災害に弱い地形と言われています。

西淀川区内を歩くと、私たちの災害との戦いの歴史や、水害から街や人を守るための工夫を見ることが出来ます。

この記事では、今までに、にしよど親子防災部で4回開催した「Let'sにしよど防災さんぽ」を元に、西淀川区を防災の視点から見てみましょう。(岸本恵子)



マップはイメージです。

1 大野川緑陰道路

区民に親しまれている大野川緑陰道路はもともとは川でした。しかもドブ川。環境保全のため、1971年から1972年にかけて埋め立てられました。地下には淀の大放水路が整備されています。



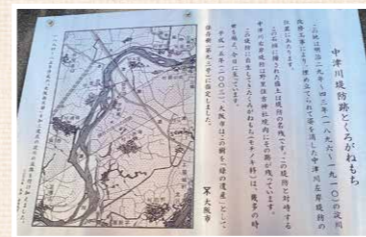
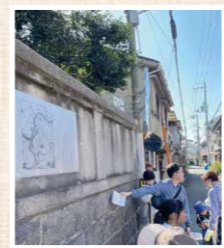
2 矢倉緑地

淀川と神崎川が合流する河口部にある矢倉緑地。室戸台風(1934年)のときに水没した田畑を埋め立てて出来た土地で、2000年にオープンしました。淀川や神崎川が氾濫した場合にも水没しない想定になっています。



3 中津川

昔、西淀川には【中津川】という川幅が狭く蛇行していた、水害にくり返し苦しめられていました。



【まめ知識】
野里住吉神社の東側の石垣は中津川堤防跡です。地図を見ると、昔の中津川がどのように町の中を流れていたのかわかるよ！

4 一夜官女祭

昔は、今のような治水の技術はなく、川の氾濫を鎮めるために、野里住吉神社では、氏子の中から選ばれた7人の少女を神に仕える官女として、神様に捧げられていたそうです。その風習を伝えるべく、現在でも毎年2月20日に行われています。



【まめ知識】
文豪・司馬遼太郎によって「一夜官女」が書かれているよ！

5 新淀川

水害から、街や人を守るため、明治29年【淀川改良工事】が進められ、明治42年に今の川幅が広くほぼまっすぐな淀川が誕生しました！



▽津波避難ビル
津波が来た時に避難するビル。避難物資の備蓄はなく、一時的に緊急避難する場所。



▽災害時避難所
浸水や倒壊により自宅で生活できなくなった市民が避難生活を送る施設で、学校などが指定されています。避難物資の備蓄もあります。



「防災ピクトグラム」
見つけよう！

●水防倉庫

堤防に面したところに、小さな倉庫が並んでいます。洪水などの水の被害を防ぐために設けられた倉庫で、土のうを入れる袋やスコップ・杭・ビニールシートなどの道具が収納されています。



●海拔表示
海拔0メートル地帯の西淀川区。電柱に海拔表示の看板が目が行きます。-1.5m。海より低いということがわかります。だからこそ、いざというときは、水害から身を守るために、マイナス地帯ではなく、なるべく高いところに避難をすることが肝になります。



防災さんぽ 基礎知識



ましもと けいこ
岸本 景子

映画監督。1979年大阪府出身。子ども映画ワークショップや映画を作りたい人たちの大人の映研部立ち上げなど映画の裾野を広げる活動に取り組んでいる。監督作として『ある夏の送り火』『家族の肖像』などがある。にしよど防災さんぼの動画では映像編集を担当。

防災さんぼに参加するまで、ずっと住んでいた街のことを全く知りませんでした。今のようには水害から守られる状態になるには、何人も人の生命が犠牲になり、また、そうならないように知恵を絞り、技術を進歩させてきた人たちの努力の上に成り立っていることを知りました。

知ること、当たり前のように思っていた街に愛着が湧き、自然と感謝のこころが芽生えてきました。

つとね



にしよど防災さんぼ動画
(西淀川区youtube)

災害との戦いの歴史に消えた
幻の川のナゾにせまる

《旧中津川・一夜官女祭編》

《淀川陸開編》



最強台風とどうする家康～in鳥島

《防災まちあるき編》

《防潮鉄扉編》



にしよど親子防災部
(事務局:あおぞら財団)

にしよど防災さんぼを開催している『にしよど親子防災部』はメンバー募集中です。災害時などいざという時に子どもたちのことを守ったり、ふだんから防災について気軽に相談できたりするゆるやかなネットワークを目指しています。ぜひ、私たちと一緒に、にしよどの防災について楽しく取り組んでみませんか？

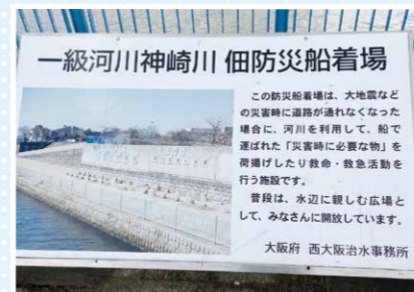


※p8に、にしよど親子防災部が作成した「にしよどおやこぼうさいブック改訂版」を紹介しています。



7 佃防災船着場

災害時、物資を各避難所に届けるために、陸路だけでなく航路でも物資の供給が出来るようにその船着場になっています。普段は、市民の憩いの場としても開放されています。2000年に完成。



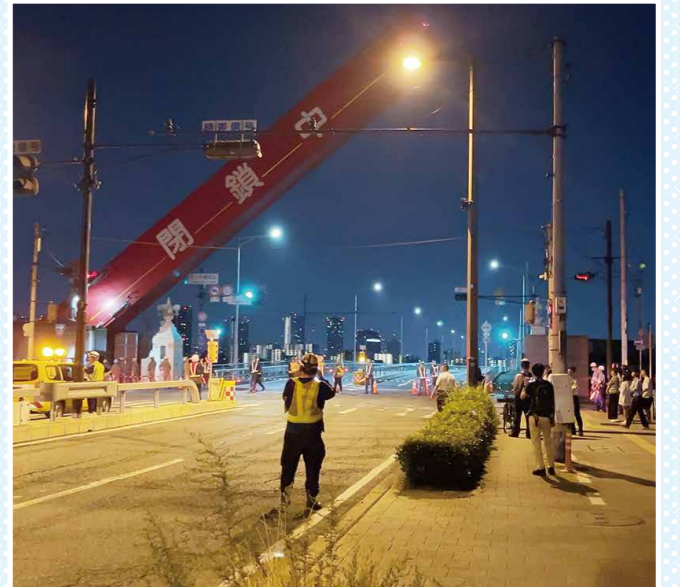
【まめ知識】

阪神・淡路大震災のときは、道路や橋が壊れたりして物資が運べなくなったため、船の交通が見直されました。西淀川区では、西島にも防災船着場があるよ！



6 淀川陸開

陸開とは、高潮や津波の際に堤防の役割を果たす開閉可能な門扉のことを言います。西淀川区は、ぐるっと周囲を高い堤防で囲まれています。通常時は生活のため通行できるようになっていますが、川の増水時には防潮鉄扉で塞いで、市街地に水が流れ込まないように設置されています。淀川陸開は日本唯一の回転式の巨大な陸開です。



【まめ知識】

水防団の人たちが、手で開けていた淀川の防潮鉄扉。現在では、防潮鉄扉の電動化が進められているよ！

10 左門殿川過去最高水位

左門殿橋のふもとにこんな表示があるのを知ってますか？2018年の台風21号でこんな高くまで水位が上がりました。無事に防潮鉄扉を閉鎖することができましたので、西淀川では水害は起きませんでした。防潮鉄扉、水防団に感謝ですね。



9 出来島水門

神崎川から西島川へと分かれる分岐点に、青色をした【出来島水門】という施設があります。いざというときに水害から街を守るために、神崎川からの治水量をコントロールしています。水門としての機能はもちろん、対岸へ行くための橋としての役割も兼ねて、生活用通路として活用されています。普段は開放したままの水門ですが毎月15日前後に試運転で閉めるそうです。



8 旧大和田川

「大和田」と「出来島」の境界は大和田川でした。今は埋め立てられて道路になっています。大和田川に架かっていた新千舟橋は鶴見緑地の「緑地西橋」に移設されて、今も現役で活躍しています。新千舟橋の親柱は大和田住吉神社にあります。



調理後の油を
無料で回収します！



50年以上の実績で、一滴残さず再び資源にリサイクル。資源循環でSDGsに貢献します！



浜田化学株式会社
Hamada Kagaku

まずはお気軽にお電話ください！
TEL 06-6411-3457



@hamadakagaku



「水防」を自分ごとに



防潮鉄扉を閉める訓練を年に1回します

水防団と一口に言っても各地でその活動は異なる。ここでは個人的な経験に基づき西淀川区における水防団の活動を紹介したい。

西淀川区において水防団の第一の仕事は防潮鉄扉の閉鎖である。西淀川区では高い堤防が整備されているが、堤防よりも低い橋が数多く存在し、その橋のたもとには堤防が途切れる形になっている。高潮や津波が襲来するとそこから水が入ってきて街が浸水してしまう。それを防ぐために堤防が途切れる箇所に防潮鉄扉と呼ばれる開閉可能な扉を設置し、水害の危険が高まった時に閉鎖することで浸水を防ぐ。



訓練中は通行止めをします

その防潮鉄扉を確実に閉めるために水防団は毎年7月初旬に鉄扉閉鎖訓練を行っている。また、その際の連絡は無線で行われるため年一回の無線訓練と毎月の定例連絡を別途行っている。

そんな水防団には大きな課題がある。端的に言うとなり手不足である。少子高齢化は水防団にも影響を及ぼし団員の超高齢化が進んでいるのだ。筆者は20代であるが、祖父より年下の団員を探すが難しいほどである。台風による高潮は事前にある程度予測ができるので防潮鉄扉は余裕を持って閉鎖することができる。しかし危惧されている南海トラフ巨大地震による津波は予想困難な上に地震発生から約110分程度で西淀川区に到達する。水防団員が動けなければ西淀川区は津波浸水することになる。水防団員の確保はこの街の命運を握っていると言っても過言ではない。

これをお読みになった方はぜひ水防を自分ごとと捉え、可能であれば水防団に入団して欲しい。



多田 裕亮(ただ ひろあき)
防災士。明石工業高等専門学校在籍時から防災団の立ち上げに関わり、防災ゲームを開発。大学進学後は「大阪防災プロジェクト」を設立。淀川右岸水防団に所属。

謎の淀の大放水路に迫る！



大野川緑陰道路にある姫島立坑



大放水路の内部
(写真はなにわ大放水路)
(出典「大阪市の下水道」
(大阪市建設局))

Q1 そもそも淀の大放水路って何？

淀の大放水路は、地下深くにある巨大な下水管。緑陰道路の36m地下に内径6.0mの大きな管が通っています。大量に雨が降った際に、東淀川区・淀川区・西淀川区等の市街地の浸水を防ぐために、通常の下水道で流しきれない大量の雨水を排水する施設です。街が都市化される前、雨は地面にしみこんでいきましたが、今は地面が舗装され、雨の大半は下水道管へ集められるようになりました。そのため、大雨が降って下水道が雨を処理しきれないと、内水氾濫が起こって町が水浸しになってしまいます。淀の大放水路は抜本的な浸水対策として整備を進めています。

Q2 淀の大放水路に水が流れるのはいつ？

ふだん、淀の大放水路には水は流れていません。淀の大放水路に水が流れるのは、大量の雨が集中して降った時です。大阪市の下水は合流式といって、生活排水と雨水と一緒に流れています。このため、晴れている時には少ししか流れていません。雨が降って通常の下水管が雨水でいっぱいになったら、大放水路に流れる構造になっています。大放水路は60mm/時の降雨量*を想定して整備していますが、30~40mm/時の降雨量であっても集中して降ると淀の大放水路に水が流れます。

*滝のように降る大雨

Q4 淀の大放水路は完成している？

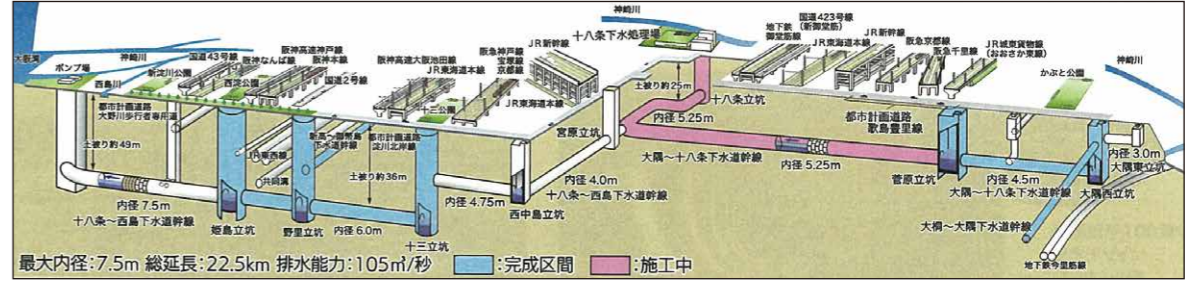
最大内径7.5m、総延長22.5kmの下水道幹線になる予定で、平成3年から整備を進めています。このような大規模な施設の整備には長い年月を要するので、完成した区間から暫定的に雨水を一時貯留しています。貯留した雨水は、雨が止んだ後、ポンプで水をくみ上げ、通常の下水道に戻して処理しています。現在は、菅原立坑から十八条立坑の間を施工しています。他の区間の着工は未定です。

Q3 堤防が決壊したり津波が来襲した時に、淀の大放水路は役に立つ？

淀の大放水路は、高潮や津波等の大量の水を短時間に排除する能力はありません。浸水後の復旧の際には、淀の大放水路等の下水道施設が街の排水に役立てると考えています。

Q5 気候変動で雨が増えています。対応は？

近年、気候変動により、ゲリラ豪雨や線状降水帯による降雨など、強い雨が降ることが増えています。今までは60mm/時の降雨量を対象に整備を進めていましたが、今後は気候変動の影響を踏まえた下水道による都市浸水対策の計画を策定するために、専門家と一緒に検討を進めています。



淀の大放水路(出典「大阪市の下水道」(大阪市建設局))

ディサービスセンター

あおぞら苑

あおぞら御膳

あおぞらの湯

【お問い合わせ】
 TEL : 06-6475-0111 FAX : 06-6475-0114
 URL : <http://aozoraen.com/>
 運営 : 社会福祉法人 あゆみ福祉会

◆あおぞら苑(事業所番号 2791000090)
 〒555-0032 大阪市西淀川区大和田5丁目7番14号
 開所曜日: 月曜日~土曜日(祝日は開所) 利用人数: 1日18人

◆あおぞら苑II(事業所番号 2771002173)
 〒555-0031 大阪市西淀川区出来島1丁目2番4号
 開所曜日: 月曜日~土曜日(祝日は開所) 利用人数: 1日25人

2006年10月1日にディサービスセンターあおぞら苑は産声を上げました。西淀川公害裁判で四半世紀命をかけて闘った患者さんや家族のみなさまの思いが、ひとつの形になったのがディサービスセンターあおぞら苑です。公害患者さんも高齢になり日々の生活を援助するために、また地域のみなさまが誰でも利用でき、「西淀川に住み続けて良かった。」と思えるようにとの思いがたくさん詰まった場所にしたいと思い設立しました。



〈内容〉

- ・もし平日に直下型地震が起きたら…
- ・どうする？ 災害時の食べ物
- ・非常食もバリアフリーに！
- ・災害への備え どう準備する？
- ・おうちを安全・安心な空間に
- ・災害時のトイレ、どうする？
- ・防災さんぽのすすめ
- ・災害と多様性
- ・心も被災する… 心のケアが大事



改訂版発行

親子で気軽に防災を！
にしよどおやこ
ぼうさいブック

「生活の中に防災を！」を合言葉に活動しているにしよど親子防災部では、2024年3月に「にしよどおやこぼうさいブック改訂版」を発行しました。

災害はいつでもどこでも誰にでも起こりえます。あなたとあなたの家族を守るお手伝いがしたいという思いで、『親子での防災』に焦点を当ててこのブックレットを作りました。

おやこぼうさいブックをきっかけに家族で防災について話し合っ、気軽に生活の中に防災を取り入れてみませんか？



だて ちひろ
伊達 千尋さん

イラストが多く入っているので子どもも読みやすく、親子と一緒に読んで防災について考えることができるのがいいと思います。防災さんぽや防災ロゲイニングについても載っているので、子どもと一緒に参加してほしいです。



ダウンロードはこちらから

そてつ ゆか
藤鉄 有香さん

私たち家族に必要なものは何かを話す時にとても参考になる本です。多くの人にこの本の存在を知って貰えたらと思います。



佃中学校での講話の様子

能登半島地震の支援報告
「ありがとう」であふれていた避難所

西淀川区役所地域支援課安全まちづくりグループ防災担当 小林 幸示

能登半島地震の立ち上げ業務で、1月18日から1週間、輪島市に滞在しました。輪島市到着後、ただちに避難所で従事しました。市街地はほぼ壊滅状態、避難所は200カ所を超えていました。輪島市の職員は200名ぐらいですが、半分以上の方が自宅で生活できないという状況でした。

担当した避難所は輪島市消防本部です。地震直後、津波から逃げるために住民は山に逃げようとしたのですが、崖崩れがあり逃げられませんでした。消防本部は、この町で唯一の高い建物だったので、約400名の方が避難してきました。消防本部は避難所に指定されていませんでしたが、皆さん自宅に戻れなかったため、そのまま避難所になりました。当初、立って寝ていたそうです。また、水や食べ物を持ち寄ったものを分け合っって生活していたそうです。

被災された方は、避難所から仕事に行き、仕事が終わると避難所に戻ってきまされた。皆さん、家を失っているにもかかわらず、「ありがとう」「ありがとう」と言いながら、笑顔で私を迎え入れてくれました。私の人生観を変えるほど貴重な経験になりました。

「被災者の声」
○非常袋が玄関になく、持ち出すことができなかった

○水とトイレには困った
○若者が避難支援をしてくれた



あなたの鞆の中身、
災害時に
役立ちますか？

災害はいつ、どこで起こるかわかりません。あなたが普段持ち歩いている鞆の中には、災害時に役立つアイテムが入っているでしょうか？見直してみると、意外なものが非常時に役立つこともあります。 日常の鞆の中身を点検し、いざという時の備えを考えてみましょう。

今回、あるお二人の鞆の中身を見せてもらいました！

ある日の松岡 咲子さんの鞆の中身



- | | | |
|------------------|------------|-----------|
| ① リュック | ⑧ ヘアクリップ | ⑮ 韓国のお茶 |
| ② ノート | ⑨ お守り | ⑯ のどあめ |
| ③ 水 | ⑩ 洋服のしみとり | ⑰ ティッシュ |
| ④ ボトル型浄水器 | ⑪ ノートパソコン | ⑱ バレエシューズ |
| ⑤ コーヒー | ⑫ エコバッグ | ⑲ 折り畳み傘 |
| ⑥ 折りたたみ
タンブラー | ⑬ エコバッグ | ⑳ 化粧ポーチ |
| ⑦ 名刺入れ | ⑭ 薬、歯磨きシート | ㉑ ハンドクリーム |
| | | ㉒ ペンケース |

まつおか さきこ

松岡 咲子さん / 舞台女優・アートコーディネーター

家では非常袋を準備しているけれど、普段の持ち物で防災を意識したことはありません。折りたたみタンブラーとボトル型浄水器はいつも持ち歩いています。たまたま持っていたバレエシューズは、避難所での上履きに使えるかも。

ある日の山本 智宏さんの鞆の中身



- | | |
|--------------------|---------------|
| ① 名刺入れ | ⑭ 日焼け止め |
| ② カード入れ | ⑮ 財布 |
| ③ 予備の眼鏡 | ⑯ 除菌シート |
| ④ ペンケース | ⑰ 家の鍵 |
| ⑤ マスク | ⑱ 数珠 |
| ⑥ ACアダプター | ⑲ 冷却プレート(屋外用) |
| ⑦ 車の鍵 | ⑳ ピンル袋 |
| ⑧ スマホの
充電ケーブル | ㉑ 通帳 |
| ⑨ 制汗剤 | ㉒ 鞆かけ |
| ⑩ アルコール除菌
(屋内用) | ㉓ 腕時計 |
| ⑪ ハンディファン | ㉔ スマートフォン |
| ⑫ モバイルバッテリー | ㉕ ポーチ |
| ⑬ カード入れ | ㉖ 制汗シート |
| | ㉗ フリスク |
| | ㉘ リュック |



ふくだ るみ
福田 留美
NPO法人にしよどにこネット代表理事
地域防災女性ファシリテーター/防災士

防災士の福田留美さんから
ワンポイントアドバイス

お2人とも自分にとって必要なものが入っていますね！そこに、自分の身を守るための最低限のグッズをプラスする「ライフポーチ」をおすすめします。マスク、笛、ライト、携帯トイレ袋、充電器を入れておくと災害時に役立ちます。ポーチはコンパクトで軽量(約200g)にし、毎日持ち歩くことが大切です。お気に入りグッズも入れて、安心感を高めましょう。



やまもと ともひろ

山本 智宏さん / にこパネット 代表

両手が使えるようにいつもリュック。今は暑さ対策を気にしている持ち歩いています。モバイルバッテリーは小さくて大容量のものを使うようにして、残量は常に満タンにしています。スマホは、災害時にも重要です。



イズミヤ ショッピングセンター福町



館長の岩崎さん

イズミヤSC福町では2024年4月に津波避難ビルとして指定されました。地域の方から「イズミヤが津波避難ビルだったらわかりやすくていい」との声をもらっていました。屋上の駐車場を避難場所として想定しています。スロープで行くことができますので、階段での移動が難しい車いすの方や足が悪い方でも避難しやすくなっています。

災害対策として一番売れるのはお水。イベント時に防災グッズのプレゼントをしたり、館内では様々な防災グッズを取り扱っています。



住所: 西淀川区福町3丁目2番15号
TEL: 06-6473-1238
営業時間: 食料品/9:00-22:00 食料品以外/9:00-21:00 (一部テナント除く)



スタッフの吉宗さん

ワークショップ.COM

ワークショップ.comは、ブックカバーや財布などの革雑貨を製作している就労継続支援B型事業所です。障がいを持つ方々と一緒に、ミシンを使わず、全て手縫いで丁寧に作り上げています。

海外の高品質な革を使用しており、長く愛用できる製品を提供しています。にしよどマーケットや柏里の夏祭りにも出店し、地域の皆様との交流を大切にしています。

また、「西淀川区災害時協力事業所制度」に登録しており、災害時には施設を開放し、地域の避難所代わりとして役立ちたいと考えているとのこと。

是非、普段から気軽に立ち寄ってみてください。



住所: 西淀川区柏里2丁目1-19
TEL: 06-7659-9828
営業時間: 月曜日～土曜日am10:00～pm14:00



新連載 キティが行く! /

第1回 西淀川ボランティア探訪記

とっと手作り体験&カフェ

2ヶ月に1度、TOTTOひめじまこども食堂が開催する「とっと手作り体験&カフェ」は、手作り体験を通して親子で楽しく過ごすことを目的としています。また、楽しいゆったりとした雰囲気の中で、子育てに関する相談を受ける場もあります。ものづくりが好きな私もお手伝いをしています。

場所は、あおぞら財団が運営する「姫里ゲストハウスいこね」。古民家をリノベーションした素敵な空間です。

7月の手作り体験は「ジェルキャンドル作り」。

透明のジェルタイプの口ウソクを使い、色砂を入れたり、貝殻やガラス細工の魚を飾って作る、まるで水槽のようなキャンドルなんです。



自分好みのキャンドル作り

とっても素敵なのにちゃんと火も付くんで震災の時に役に立ちます! みんな作業中はビックリするくらい静かでスゴイ集中力!そして子どもより本気な大人たち(笑)

途中カフェタイムもあり、最後はキレイに出来たジェルキャンドルを持って笑顔で帰られました。次は11月です。お楽しみに!



完成したジェルキャンドル

とっと手作り体験&カフェ

主催: TOTTOひめじまこども食堂
参加費: 無料。事前申し込みが必要
お問い合わせ: totto.himejima@gmail.com



ながのみほ 長野 美保

息子がキティ好きだったことから愛称はキティ。西淀川おもちゃ図書館おもちゃばこ(現在は閉館)をはじめ、西淀川区内の様々なボランティア活動・市民活動に長年関わっています。



西淀川でボランティア活動に関わっているキティによる密着記事

西淀川育ちの柴崎治男さん(79歳)。今年度、西淀川区地域振興会の災害救助部長になりました。ご自身の生い立ちや災害についてお聞きしました。

2024年8月7日ヒアリング



柏里会館の前ではるお 柴崎 治男さん

おうちは紙芝居の貸元

1945年生まれの柴崎会長は、3歳の時に疎開先の湯村温泉から柏里に移り住んできました。お父さんは戦時中の出征から戻ってきて、紙芝居の貸元をされていました。貸元には紙芝居師が40人ぐらいたったそうです。紙芝居師は、公園や広場で駄菓子を売り、子どもたちが集まってきたところで紙芝居を上演します。おうちでは酢昆布、アイスクリーム、水あめを

お母さんとお姉さんが手作りしていたそうです。柱に木刀をくくりつけて水あめを練っていたとか。また、紙芝居は毎回同じものでは子どもが飽きてしまうから、時々、お母さんが重い紙芝居を背中に担いで、紙芝居を貸しているお店に入れ替えに行っていました。

西淀川はよく水に浸かる町だった

昔の西淀川は雨が降ると、よく浸水していたそうです。マンホールから下水があふれ出し、膝の高さまで浸水することがよくありました。当時は汲み取り式便所でしたので、街中は汚物でまみれているという衛生状態でした。1950年、当時5歳だった柴崎さんはジェーン台風を経験します。3階建て鉄筋コンクリート造の「小鹿病院」に避難しました。近所の人々がたくさん避難しており、窓の外には風で瓦や看板が飛び交っていたのを覚えています。



ジェーン台風で浸水した西淀川(エコミュージズ所蔵 溝口欽一氏資料)

台風が近づくと窓に板を打ち付けた

昔から怖いものとして地震、雷、火事、親父が挙げられますが、柴崎さんが経験した中で最も怖かったのは台風です。昔はほとんどの家が木造で窓も今ほど頑丈ではなかったため、風速30m/秒以上の台風の予報が出ると、窓に長い板を打ち付けて補強していました。台風接近時には金づちで釘を打つ音が方々で聞こえました。また、天気予報は今ほど正確ではありませんでした。柴崎会長が20歳くらいの時、

「明日、台風が来る」との予報であったにもかかわらず、夜中の2時ごろに風が強まり、風圧で窓が壊れたことがあったそうです。あわてて畳を窓に押さえつけて「朝までなんとか耐えた」とお話ししてくれました。

災害が起きたら一人ひとりが主役に

現在、柏里地域では、年に一度、避難所開設の訓練を行っています。

救護や物資の配布、炊き出し、役所との連絡などの役割を決めても、災害発生時には誰が駆けつけることができかわかりません。そこで、2年前からは、本部長などの主要な役割だけを決め、残りの役割は避難訓練時にくじ引きで決定する方式に変更しました。これにより、予期せぬ状況にも柔軟に対応できるようになります。

災害が発生したら、みなさん一人ひとりが主役。自分を助けると同時に他人をも助ける立場になって活躍してほしいと柴崎さんは願っています。



エコミュージズ館長：小田康徳

大野川緑陰道路の建設へ

— 憩いと落ち着きを求める住民運動の高揚 —

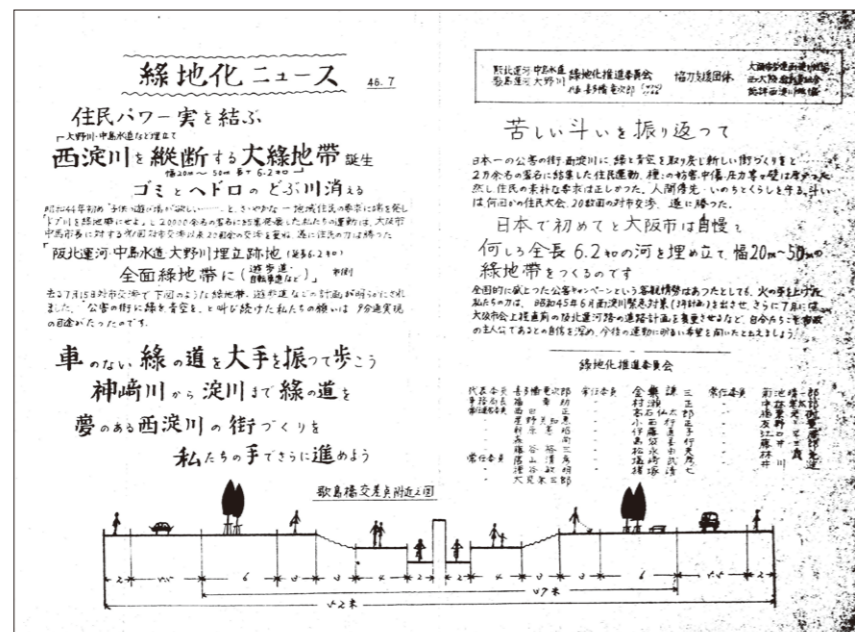
人びとに憩いと落ち着きを与え、現在西淀川区民の誇りともなっている「大野川緑陰道路」。この広大な緑地帯の建設は、1970年（昭和45）10月13日大阪府が「阪北水路、歌島運河、中島水道、大野川を埋めて全面緑地帯とする」との意向を「緑地化推進委員会」に明らかにしたときほぼ確定した。

「大野川緑陰道路」建設の運動は、1969年5月の「緑地化推進委員会」設立とともにあった。同会は、5月9日の第1回打ち合わせ会で「協力して運動をしよう」との趣旨のもと、当時の社会・公明・民社そして共産党の思想や政策上の違いを乗り越えて設立されたと言われている。彼らは最終的には2万人を超す署名を集め、それを基盤に、一丸となって大阪市に働きかけていった。代表の喜多幡龍次郎の周りには日赤奉仕団・工場経営者・主婦・総評西淀地区協議会・大阪市教職員組合西大阪支部・市労連西淀川地区協議会など、労組をはじめ多様な人びとが住民として集まった。かれらが運動を始めたきっかけは原料や製品の運搬手段としても、稲作の用悪水路としても用をなさなくなり、どぶとなって悪臭と不快の発生源と化していた水路の跡地が自動車道路になることを聞き出したことであつた。彼らは、それは悪化した区内の自然環境をさらに悪化させるもので、住民には

それを耐え忍ぶ義務はないとして、その計画を拒否した。そして、区内のすべての地域において人間らしさを取り返す可能性をもつ緑道建設を求めたのである。「全面緑地帯とする」との市の言明までは、運動を始めて1年半ほど。市政も市民の気持ちを無視できなくなっていた時代であつた。

写真は1971年7月、九分通り全面的な緑地化が実現することが見えてきたときに発行されたピラである。そこには「全長6.2キロの河を埋め立て、幅20メートル～50メートルの緑地帯をつくる」と誇らし気に書かれ、「自分たち（住民）こそが市政の主人公である」との自信にみちた文字が記されている。

10月13日など、緑陰道路にちなむ日にはそこに出て、この時の住民意識・運動に思いを馳せてみてはいいかがであろうか。



喜多幡龍次郎氏資料 NO.343-10

西淀川・公害と環境資料館エコミュージズ利用のご案内



公害や西淀川地域に関する図書や、西淀川公害公害裁判資料、弁護団や患者会・住民運動などの写真や資料等を所蔵しています。ぜひ一度、お越しください。

◆利用案内 開館時間：月・金曜日 10:00～17:00
web: <http://www.aozora.or.jp/ecomuse/>



役になりきって学ぶロールプレイ教材 「あなたのまちで公害が起きたら」

今回は、研修等で活用しているロールプレイ教材「あなたのまちで公害が起きたら」を紹介しつます。この教材では、大気汚染公害に関わるステイクホルダーの一人になったつもりで、お芝居形式で大気汚染公害を体験します。ロールプレイを通して、合意形成や他者受容の難しさを学び、大気汚染公害に対する理解を深めます。

● ロールプレイの設定

203X年、あなたの住むまちで、原因不明の大気汚染物質らしきものによる健康被害が発生しています。市役所による環境調査の報告会の後、集まった地域の人たちがそれぞれの立場から要望を発言する時間が設けられました。

● ロールプレイの進め方

① 役割決め	役割をくじ引き等で決めます。
② 話し合い	15分程度、「同じまちに住む者同士で、現状に対して何をすべきか合意形成を図る」ことを目的として話し合います。
③ 全体共有	話し合った過程や合意の内容を発表してもらいます。
④ 振り返り	あなた自身だったらどう考えるのか、率直に意見が言えていたのか等、振り返ります。



このロールプレイは、大気汚染公害という社会問題を、多様な視点から考えるきっかけになるワークです。「演技をする」という行為は相手の気持ちに同調する行為（＝同情）ではなく、相手の立場に立って何を考えているのかを想像する行為（＝共感）です。公害を学ぶ時、最初から、公害患者、市役所の職員、医師、工場経営者、住民といった多様な視点から考えるのは大変難しいことですが、このワークを行うことで、多様な視点を自然に意識して考えることができるようになります。

教材を体験した方から「話を聴くことの大切さを学んだ」との感想をいただきます。複雑な問題が発生した時、様々な人の相手の話を聴くことは一見遠回りに見えますが、実は解決に向けた合意において非常に重要なことであることを体験できます。

教材のダウンロードはこちら



[広告]

医療費の支払でお困りの方 相談下さい。「無料低額診療」実施中！
～「いのちの平等」をめざして～
差額室料をとらず、24時間365日 医療と介護

- ・西淀病院
- ・のぞと診療所
- ・千北診療所

- ・ファミリークリニックあい
- ・姫島診療所
- ・ファミリークリニックなごみ

- ・介護老人保健施設よどの里
- ・在宅総合センターらくらく
- ・社会医学研究所

WHO認証
「地域健康増進支援事業所」
認証施設

看護師・介護職 募集中！

公益財団法人淀川勤労者厚生協会 TEL 06-6471-0496 URL www.yodokyo.or.jp

ありがとうございます

(2024年4月～2024年7月 敬称略・順不同)

●お助けボランティア	●寄附・寄贈者	
MOKU	あおぞら市の皆さん	TERA Energy株式会社
渡辺 哲敬	大塚 健司	独立行政法人環境再生保全機構
岡崎 久女	奥村 昌裕	八丸 久美子
山下 晴美	傘木 宏夫	廣瀬 平四郎
	寄付者ニックネーム Y	山崎 光信
	清水 万由子	脇田 武利
	全国公害弁護団連絡会議	嶋田 章
	津留崎 直美	酒井 健一

あおぞら財団 寄附のお願い

日ごろよりあおぞら財団の活動にご支援とご協力を賜りありがとうございます。みなさまからの大切な寄付を私たちの活動に役立ててまいります。

●西淀川公害がわかる資料集をつくります!

いま、エコミューズでは資料を改めて調査し、公害の形成、その中で生活の姿、裁判を中心とする患者の活動を蘇らせようと、基礎的な資料集の作成に取り組んでいます。どうぞみなさまの寄付によってこの活動を支えてください。

●オンライン寄附サイト Give One (ギブワン)

お振込み以外にも、オンライン寄付サイト「Give One」からはクレジットカード決済での寄付も可能となっております。ぜひ、ご利用いただけますと幸いです。

<https://giveone.net/>

クレジットカード決済・ペイジーをお選びいただけます。「あおぞら財団」で検索してください。



編集後記

9/18に西淀川区役所で開催された「家族のためのシアターワークショップ」、企画から関わりました。演劇遊びや寸劇づくりを実施。安心できる場で自分の表現を受け取ってもらえとめっちゃめっちゃ感動します。演劇は、コミュニケーション能力を育むので、防災にも役立ちそう!

りべら No.166 2024年10月号(年3回発行)

発行所:公益財団法人公害地域再生センター(あおぞら財団)
 編集人:谷内 久美子
 〒555-0013 大阪市西淀川区千舟1-1-1あおぞらビル4階
 TEL 06-6475-8885 FAX 06-6478-5885
<http://aozora.or.jp/> webmaster@aozora.or.jp

デザイン:(株)バード・デザインハウス
 会員の購読料は会費に含まれています。
 本誌掲載記事の無断転載を禁じます。

あおぞら財団 Facebookページ「いいね!」を押しくださいね。



インターンの声

私は、大学のゼミで公共・非営利組織経営論について学んでおり、先生に公益財団法人であるあおぞら財団を紹介してもらいました。自分が住んでいる地域や環境についてもっと理解したいと思い、インターンシップに参加させていただきました。研修では、フードマイレージについて知ってもらうために学童保育所を訪れたり、教員の方々と地盤沈下が起きた矢倉緑地を見学したり、あおぞら市で地域の方々と交流をしました。温暖化ガスや大気汚染物質により環境に悪影響が及んでいることを改めて詳しく知りました。カレーに含まれるクルクミンがPM2.5の炎症作用を抑えるなど様々な効果があることもわかりました。今回の経験を活かし、もっと環境や周りに目を向け、意識を広めていきたいと思っています。貴重な体験をさせていただきありがとうございました。



近畿大学経営学部3年 かしま ゆき 加嶋 夕暉

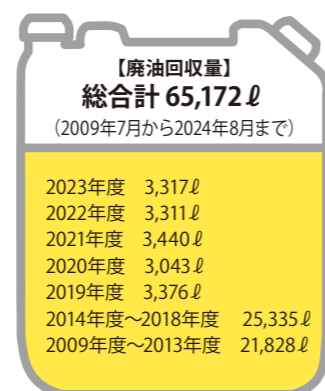
「りべら」に広告を掲載しませんか?

年3回発行の「りべら」は、あおぞら財団会員様をはじめ、西淀川の公共施設・店舗など、様々なスポットに配布しています。あおぞら財団の活動にご賛同いただける方からの広告の掲載を募集中です。

【りべら広告掲載費】

中面1/9頁: 1万円/回、中面1/3頁: 3万円/回、中面 全面: 9万円/回
 ※お問合せ先:あおぞら財団まで TEL06-6475-8885

西淀川菜の花プロジェクト
 ~エコでつながる西淀川~



現在西淀川区内外約50箇所で、廃油を回収しています。回収団体募集中。

エコでつながる西淀川推進協議会
 事務局:浜田化学株式会社
 06-6411-3457

廃油回収先拠点は
 こちら▶



ぜん息・COPDに関する 電話・メール相談室

広告

環境再生保全機構が運営する「ぜん息・COPD電話相談室」は「ぜん息・COPD」に特化した内容を無料で相談できるものとなっております。全国から毎年1000件近くの相談を受けています。

今使っている薬やこれからの治療など、ぜん息、COPDに関する心配ごとやお悩みごとについて、専門医と看護師や保健師がお答えします。ご本人様はもちろんご家族の症状まで、どなたでもお気軽にご相談いただけます。

電話だけでなくWebでの相談もできますので、ぜん息やCOPDについて疑問や不安に思っていることなどがありましたら、ぜひ一度ご相談ください。



フリーダイヤル: 0120-598014 (こきゅうはい~よ)

受付曜日・時間: 月~土曜日(祝日・年末年始を除く) 10:00~17:00

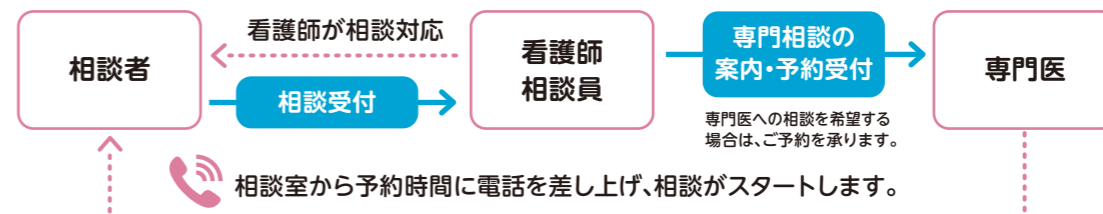
ぜん息・COPDに関する電話相談室

小児ぜん息・成人ぜん息・COPDの専門医や看護師が無料でお答えします。

ぜん息・COPDに関する心配ごとや悩みごとについて、電話やメールでご相談いただけます。専門医による電話相談日はホームページ等でお知らせしております。あらかじめ電話で予約をお取りいただくと、専門医相談日の予約時間に相談室からお電話いたします。



相談の流れ



詳しくは |

またはこちらから

<https://www.erca.go.jp/yobou/zensoku/service/tel.html>



環境再生保全機構は、環境問題に幅広く対応するための政策実施機関として設立された環境省所管の独立行政法人です。

環境再生保全機構では **様々なパンフレットも全て無料で配布しております**。提供しているパンフレットの一覧はホームページからご覧いただけますので、少しでも気になるパンフレットがあればお電話もしくはホームページからお申込みください。

<https://www.erca.go.jp/yobou/pamphlet/form/index.html>



独立行政法人 環境再生保全機構 TEL:044-520-9504(予防事業部代表) <https://www.erca.go.jp/>